

「緒方富雄賞」推薦状及び履歴書の記載方法

1. 推薦状（様式1）

推薦理由は、「緒方富雄賞」選考委員会規程第4条2項の受賞資格及び選考基準に従い、具体例として示した内容を参考に記載すること。

- (1) 臨床検査医学の技術面で顕著な業績をあげ、かつその進歩発展に大いに寄与した者であること。

（具体例）基礎的な技術開発より、実際の臨床検査に還元され、利用されている技術の開発（特許取得を含む）・改良を高く評価する。

- (2) 一級臨床検査士または一級遺伝子分析科学認定士の資格を有する者、あるいは同程度の力量を有している者であること。

（具体例）「同程度の力量を有している者」とは、博士号取得者で、専門分野の二級臨床検査士、遺伝子分析科学認定士（初級）、POCT測定認定士、認定臨床微生物検査技師、細胞検査士、認定血液検査技師、認定輸血検査技師、認定心電検査技師、JHRS認定心電図専門士、超音波検査士などの資格を有し、技術面での力量があることとする。

- (3) 臨床検査領域の教育面で貢献した者であること。

（具体例）大学、専門学校等で臨床検査教育に携わった者に限らず、当法人の公益目的事業、日本臨床衛生検査技師会、学会その他の学術団体における講習、臨床現場での学生ならびに若手技師の指導等を通じ、臨床検査領域における教育及び人材育成に貢献した者を高く評価する。

- (4) 臨床検査医学に関係のある論文、著書あるいは講演の内容が学術的に高度であること。

（具体例）「論文」については査読のある学術論文、「著書」については教材、教科書を含む著書、「講演」については学術団体における特別講演及び招待講演を、それぞれ高く評価する。

2. 履歴書（様式2）

- (1) 「研究歴・研究分野」については、具体的な研究内容と成果を記載すること。

なお、成果には主な「学術論文」3編（著者全員の氏名、論文タイトル、雑誌名、巻、頁、発行年）を記載し、各論文のコピーを2部ずつ添付すること。

- (2) 以下の業績について指定の様式に従って記載すること。

① 査読のある学術論文（欧文・邦文別）（様式3）

② 国内学術集会（特別講演・招待講演・教育講演・シンポジウム等と一般演題を分けて記載）（様式4-1）

③ 国際学会（特別講演・招待講演・教育講演・シンポジウム等と一般演題を分けて記載）（様式4-2）

④ 著書（教科書、教材を含む）（様式5）

⑤ 取得特許（様式6）

- (3) 「日本臨床検査同学院及び他の学術団体における活動歴」

例：日本臨床検査同学院 一級・二級・緊急臨床検査士資格認定試験実行委員、同学院の部会やその他の講習会講師など。